

# 2025年度 AGLOC 実践活動報告

2026年2月28日  
第6回丹波篠山研究発表会

## AGLOCの理念 “地域と世界を繋ぐ” AGLOC

活動目的：  
丹波篠山の国際的な認知拡大、また留学生を地域に巻き込んだ学生団体の形を一から創造する

留学生の篠山観光引率や農業体験を通して、  
世界への丹波篠山の認知度拡大、魅力発信に努めたい

### 4/12(日) 農業ボランティア

・参加人数:1名

・活動内容:①夏野菜の苗づくり ②落花生の種の選別  
③落花生の種まき  
①→ナス、トマト、かぼちゃ、鷹の爪など もう少し大きくなったら地面に植え替える  
②→発芽に適したふくらと丸い形の種を選んだ  
③→種をまいて土をかぶせるのをテンポよく行う

○農業サイクルの始まり(土壌づくり、植えつけ)を体験できた  
○地域の桜並木が美しかった

### 4/26(日) 農業ボランティア

・参加人数:4名

・活動内容:①すいかの苗植え ②筍掘り ③じゃがいもの芽かき ④インゲン豆の種まき ⑤じゃがいも植え  
①→苗を植えた後に保護のため透明ののカバーをかぶせた  
②→農家さんのお宅のすぐそばにたくさんの筍  
③→大きな芋が実るように芽を減らした

○山椒摘みなども含めて1日で多様な作業を体験した  
○前回回いた落花生がカラスに食べられてしまったので、もう一度まいてカラスよけに糸を張った

### 5/10(土) 農業ボランティア

・参加人数:2名

・活動内容:①さつまいもの苗植え ②獣害対策用の柵の設置  
①→専用の道具を使って苗を植える  
②→特に山に近い畑では鹿や猿の被害が大きいので欠かせない

○さつまいもの苗は斜めに植えることや、夏場の暑さに備えて新芽の下に土を敷くなど、農家さんの知恵を教えていただいた  
○農家さん自家製のふきの山椒漬けもいただいた

### 6/6(木) 日本文化見学旅行引率

・参加人数:6名

・活動内容:大学の依頼で「留学生日本文化旅行」のガイドに  
①デカンショ踊りの体験 ②篠山城跡付近の観光  
①→講習を受講後、篠山城跡でみんなで円になり踊る  
②→3グループに分かれて城下町周辺を観光

○活動の軸としている「国際交流」ができる貴重な機会を改めて丹波篠山の良さを実感できた  
○毎年AGLOC独自のガイドブックを作成・更新することでサークルの認知度拡大に寄与した  
○AGLOCメンバーでなかなか人数が集まらなかったためメンバー以外にも来てもらい、丹波篠山について知ってもらえるきっかけになった

### 6/8(日) 農業ボランティア

・参加人数:2名

・活動内容:①じゃがいもの収穫 ②梅の収穫 ③鹿よけネットの設置  
①→これまでの活動で芽かきを行ってきたじゃがいもを収穫

○帰りにセッコクの花をいただいた  
○様々な種類の作業があり、新鮮だった  
○梅雨入り前でも天気も持ち、時折吹く風が気持ちよかった

### 7/7(月) 小学生交流

・参加人数:4名

・活動内容:  
①岡野小学校の小学5・6年生に、留学生の出身国についてクイズ形式で紹介する

○これまでの小学生交流とは違う内容で新しい試みだったが、ベルギーとモンゴルの留学生のそれぞれの文化についての話は小学生も興味を持って聞いてくれた  
○留学生2人も、子どもたちが元気で、交流が楽しかった、自分の国に関わる機会があったら積極的に関わってほしいとのことで、楽しんでくれた

### 7/12(土) 農業ボランティア

・参加人数:3名

・活動内容:①畑の草取り  
①→主に枝豆やじゃがいもの畑の草取りを行った

○午後はお手玉を作ったりもした  
○天気に恵まれとても暑かったが、農家さんのアイデアで大きな傘をさしながらすると、暑さが和らいだ

### 9/6(土) 農業ボランティア

・参加人数:6名

・活動内容:①落花生の収穫 ②「保田ぼかし」作り  
①→今年度最初のほうで種をまいた落花生を収穫。  
②→神戸大学の保田先生が発案した「保田ぼかし」をつかった。米ぬか、油粕、魚糞などを混ぜ合わせてつくる。

○保田ぼかしは一見混ぜて完成のように見える作業だが、塊が残らないようにしっかりと混ぜたり、袋に入れるとき空気をしっかりと抜くなど、化学成分を使わないからこそのいい状態で保存するためのコツがあり、興味深かった

### 10/12(日) 農業ボランティア

・参加人数:10名

・活動内容:①作物の収穫  
①→黒枝豆、柿、栗、さつまいもなど

○毎年恒例のOBOG会  
○丹波篠山の黒豆は一株でも抱えるようなサイズで大きい  
○農家さんの話し合いにも参加させていただき、獣害問題や高齢化などについて考えた

### 10/25(土) 岡野地区特産品販売

・参加人数:1名

・活動内容:①野菜、山の芋の量り売り  
②黒枝豆の販売  
③農家さんがその場で作ってくださった山の芋チップスと山の芋ナゲットのセット販売

○普段お世話になっている農家さんと共に地域住民の方々や地域外からのお客さんと接することができ、楽しかった  
○無事に完売することができた

### 11/8(土) 農業ボランティア

・参加人数:5名

・活動内容:①山の芋の収穫  
①→つたを取り、泥や根を落として、集めたつたの野焼きも行った

○新しく留学生が3名体験に来てくれた  
○紅葉がきれいで、快晴の中での作業  
○野焼きで焼き芋もいただいた

### 12/6(土) 農業ボランティア

・参加人数:女性1名、男性3名(うち留学生3名)

・活動内容:①黒枝豆の脱粒 ②さつまいも掘り  
①→黒枝豆は枝の根元を切ったあとに何個かまとめて逆さにして乾燥させた。10月は緑色だった豆も黒くなっていた

○黒枝豆の味噌づくりという経験もさせていただいた  
○今回も留学生に多く来ていただいた

### 1/17(土) 農業ボランティア

・参加人数:5名

・活動内容:①畑の整備  
①→干し草を運んだり、山の芋のつるを片づけたりした。

○干し草の下からミズなど様々な虫が出てきて驚いたが、そういった虫のおかげで土壌が豊かになるそう  
○年度最後の農ボラで、お世話になった農家さんと1年を振り返ることができた

## 全体を通して



### 【活動による効果】

- ・留学生の農ボラへの継続的参加
- ➡ 興味を持った留学生が論文のテーマにAGLOCを扱ってくれ、積極的に岡野地区を訪れて農家さんにお話を聞くなど交流を深めていた
- ・小学生交流はコロナの影響などで途切れていたが、今年度新たななたちで再開した
- ➡ 団体の理念である、国際交流と丹波篠山の地域をつなげる活動ができた
- ・留学生の文化見学旅行ガイド
- ➡ 神戸に留学しているだけでは知る機会が少ない丹波篠山の魅力を知ってもらったり、農業について伝えるきっかけになった

## 全体を通して



### 【地域への提案】

- ・参加できる人数が集まらず日本文化見学旅行や特産品販売は前年度参加した半分の日程に
- 交流や魅力発信の機会減、あまりAGLOCの存在自体が知られていない
- ➡ 宣伝に力を入れたほうがよいのでは
- ・農ボラ後に交流会を行ったり、農ボラだけでなく地域のお店や施設に行く機会を作ったりして参加者も学びを深めるべき

ご覧いただき  
ありがとうございました!

神戸大学  
国際農業ボランティアサークル  
AGLOC



AGLOC.KOBE